

## 令和5年度第1回福井県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和5年11月13日（月）13:30～15:30

場所：福井春山合同庁舎1階第1共用会議室

### 議事

#### 1 開会あいさつ 福井労働局赤羽職業安定部長あいさつ

#### 2 議題

##### (1) 最近の雇用失業情勢について

令和5年9月分の雇用失業情勢について、福井労働局訓練課長より説明を行った。

##### (2) 公的職業訓練の令和4年度実施状況及び令和5年度実施計画等について

求職者支援訓練の令和4年度の認定定員、実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況及び令和5年度の実施計画等について、労働局訓練課より説明を行った。また、公共職業訓練（施設内・委託）の令和4年度の実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況及び令和5年度の実施計画等について、福井県産業労働部労働政策課と（独）高齢・障害・求職者支援機構福井支部より、それぞれ説明を行った。別途、福井県産業労働部労働政策課より令和5年度に実施する地域リスキング推進事業の一覧について説明を行った。

##### (3) 福井大学におけるリカレント教育について

福井大学で行っているリカレント教育、リスキングプログラム「未来協働プラットフォームふくい」について、福井大学より紹介があった。

##### (4) 第1回中央職業能力開発促進協議会の結果について

令和5年9月29日に開催された、第1回中央職業能力開発促進協議会の結果について、労働局訓練課より説明を行った。

##### (5) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループの開催について

令和5年度のワーキンググループの効果検証結果及び訓練カリキュラムの改善促進策を労働局訓練課より説明した。デジタル分野訓練のモデルカリキュラム概要（案）を福井県産業労働部労働政策課より説明した。

##### (6) 令和6年度福井県地域職業訓練実施計画の策定に向けた検討について

第1回中央職業能力開発促進協議会での結果を踏まえ、令和6年度福井県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）及び福井県における求職者支援訓練の実施計画策定に関する下記①～⑤の5項目について、事務局からの提案・説明を行った。

- ① 訓練実施規模・就職率目標
- ② 基礎コースと実践コースの割合
- ③ 実践コースの重点を置くべき訓練分野の配分
- ④ 地域ニーズ枠の設定
- ⑤ その他

#### 3 質疑・意見交換について

各参加者からの主な発言は以下のとおりです。

## 構成員

先週、別の会議でも雇用失業情勢の報告を聞き、その中で事務系の有効求人倍率が0.5倍位と聞きましたが、正確な数字を教えてください。

## 事務局

福井県の有効求人倍率は全国1位を推移してきました、現状の数字は今手元になく正確にはお伝えできませんが、事務は人気も高く正社員でも0.5~0.6倍が恒常的になっている。事務系のコースも訓練コース全体の大半を占めており景気に関係なく、なかなか求人が少ないのが常にある状況。

## 構成員

2024春闘の方針が報道され始め、経済・物価・賃金の安定的に上昇する社会へのステージの転嫁を図る正念場の年の取組が基本方針として取りまとめられている。2023に続いて持続的な賃上げとなり、人への投資推進は今ご説明頂いた取組が重要になってくると考えている。介護分野、IT分野など、地域の実情に伴った業界のさらなる推進が必要だろうと考える。求職者支援制度の変更点で訓練対象者の拡大、転職せず働きながらスキルアップを目指す方へ、窓口を広げる取組は非常に有効だと感じた。

求職者支援訓練実施状況 R3年度とR4年度の充足率は増えたが就職率が減ったのは対象者を拡大したからか？

## 事務局

昨年、中高年齢者向けの訓練を増やす傾向があり、新規訓練施設が参入し、60歳前後の高齢者が多く受講され就職率が20~30%と低くなってしまったのが、要因かと訓練課では分析している。受講率は上がったが出口の就職先に関してもう少し考慮すべきだと考えている。

## 構成員

訓練を受託させていただいている側だが新しい企画訓練をどう活かしていけるかを考えている。60歳以上の高齢者の方も多数訓練を応募してくる。この方たちの就職率を上げるにはどうすべきか苦労している。中高年向けの訓練と就職先の対策を図っていく必要がある。個人的には高齢者の方が若い方に比べて、就職に関する意欲が高い。訓練施設側としてはいかに就職率を上げるか常に考慮しているので、何か良い意見を伺えたらありがたい。

## 構成員

本県の良いところは、高齢者の方が労働者として働ける労働現場を事業所が作っている。但しこれは継続して働いている人であって、転職する方を受け入れるのは難しいと思う。一足飛びに解決できる問題ではないので社会全体で考えていく問題かと思う。

## 構成員

障害者の就職について、メンタルを患う方が就職しても離職してしまう話を聞くため、訓練カリキュラムを工夫し、より多くの精神障害者の就職支援が必要かと思う。

## 事務局

障害者の公共職業訓練に関して、実践能力習得訓練コースや特別支援学校早期訓練コースを含め年間定員60名位の訓練がある。

福井県の障害者の公共訓練について、健常者と障害者の合同訓練を1コース設けている。訓練カリキュラムをゆったり取った障害者だけのコースも、H30年から始め、年間2コース開催している。合同実施コースも委託先に依頼して増やしていきたいと思う。

## 構成員

新幹線の開通に伴い観光人材についても重点的に考え検討する必要があるかと考える。

## 事務局

令和6年度の求職者支援訓練の実施計画案で検討させていただく。

#### 4 結論

事務局案は了承され、各構成員からの意見等を参考に、令和6年度福井県地域職業訓練実施計画（案）を事務局で策定し、令和6年2月中旬に開催予定の第2回福井県地域職業能力開発促進協議会で諮ることとした。

#### 5 閉会あいさつ 福井県産業労働部小野田副部長あいさつ